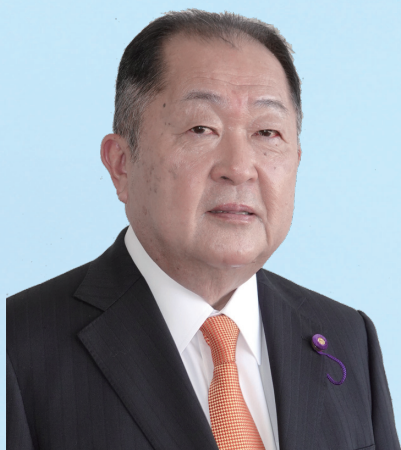


謹賀新年



希望あふれるまちへ、みんなで一歩前へ

神崎町議会議長 高橋正剛



地域ので創る
これからのまちづくり

神崎町長 椿 等

あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、新年を穏やかに新たな夢を持つてお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、阪神・淡路大震災から30年の節目の年となりました。また、一昨年の能登半島地震においては、復興へ向けて大きく動き出しているものの、あまりの被害の甚大さに完全復興までには、なお時間がかかる見込みです。

「備えあれば憂いなし」ということわざのとおり、繰り返しされる自然災害に対して、防災力の向上や平常時の備えの必要性を強く感じております。

町では、2025大阪・関西万博に「発酵県ちば」ブースの一員として出店し、「発酵」をテーマに、味噌の味比べや冷や汁の試飲等を行い、「発酵の里こうざき」を全国・全世界に発信しました。

また、昨年、町村合併70周年を迎え、記念式典では、多くの来賓の方を御招待し、町に貢献いただいた方々の表彰や特別公演を実施、同日の午後から開催しましたお祭り大集結フェスタでは、数十年前ぶりに復活した「神崎音頭」を子供から大人までが踊り、合併70周年を祝いました。

令和8年度のパーキングエリアの完成・道の駅との接続に併せ、道の駅施設の拡張も行います。駐車台数の増加や発酵市場棟の売り場面積拡張、飲食スペース、トイレの拡張等を行い、より使いやすい道の駅に生まれ変わります。

さらに、「ハイウェイオアシス構想」のもと、芝生広場や遊具、ドッグランを含めた多目的広場の整備等を検討していきます。

また、「発酵×オーガニックビレッジ宣言」に基づき、道の駅を核とした発酵によるまちづくりと併せ、本町の基幹産業である農業の安定経営と、安心安全な地元産農産物の有機化を進め、学校給食への導入等を行ってまいります。

結びに今年一年が皆様にとって、素晴らしい年となることを御祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、町議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には平素から町議会に對しまして、温かいご支援とご理解を賜り、議員一同深くお礼申し上げます。

合併70周年を迎えた神崎町は「発酵の里」として、豊かな自然と歴史、そして発酵文化を活かしたまちづくりを進めております。昨年は、町道成田神崎線の早期開通を目指した特別委員会の設置、道の駅改修事業、子育て支援、高齢者福祉、防災対策など、町民の皆さまの暮らしを支える施策に議会として真摯に取り組んでまいりました。

国においては、昨年、初の女性総理大臣高市新内閣が発足し、「責任ある積極財政」を掲げ、物価高対策などに取り組んでいます。また、酷暑や台風、豪雨、暴風雨など、各地で甚大な自然災害が発生した事に加え、資源不足、エネルギー不足を起因とする物価高騰が続く、毎日の生活を圧迫しております。

こうした中、他の多くの自治体同様、本町も少子高齢化、人口減少など様々な難題を抱えながら社会資本の整備、教育や福祉の更なる充実をはじめ、広範かつきめ細かな行政サービスが求められております。

今年は午年、活気があり、新しいものが生まれる年とされており、ますので、議会としてより効果的な施策を考え生み出し、住んで良かった「神崎町」を目指し、町民の様々な意見に耳を傾けながら、活気があり開かれた議会運営に取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様のご多幸とご健勝をお祈りするとともに、町民の皆様が力を合わせ、明るく活力あるまちづくりに参画下さるようお願い申し上げます、新年のご挨拶いたします。

